

JASON Tips

NMJT_0005

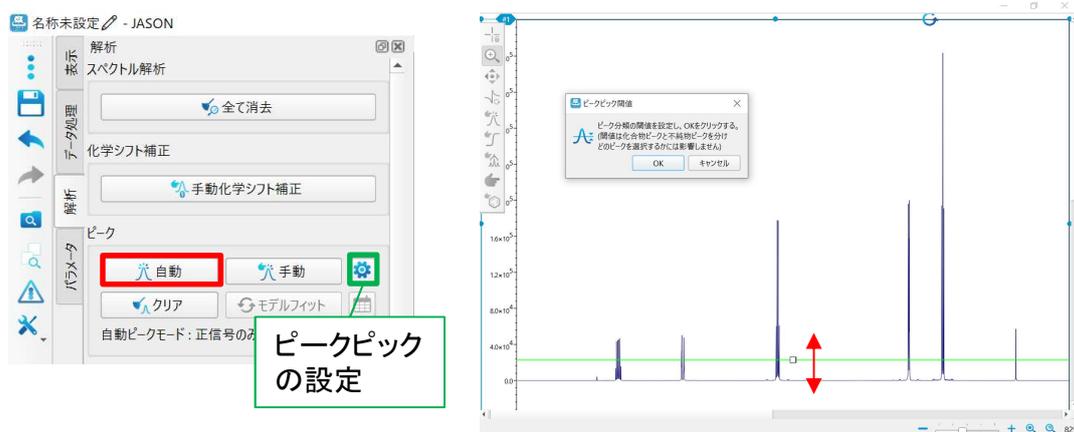
自動・手動ピークピック

JASON
JEOL Analytical Software Network

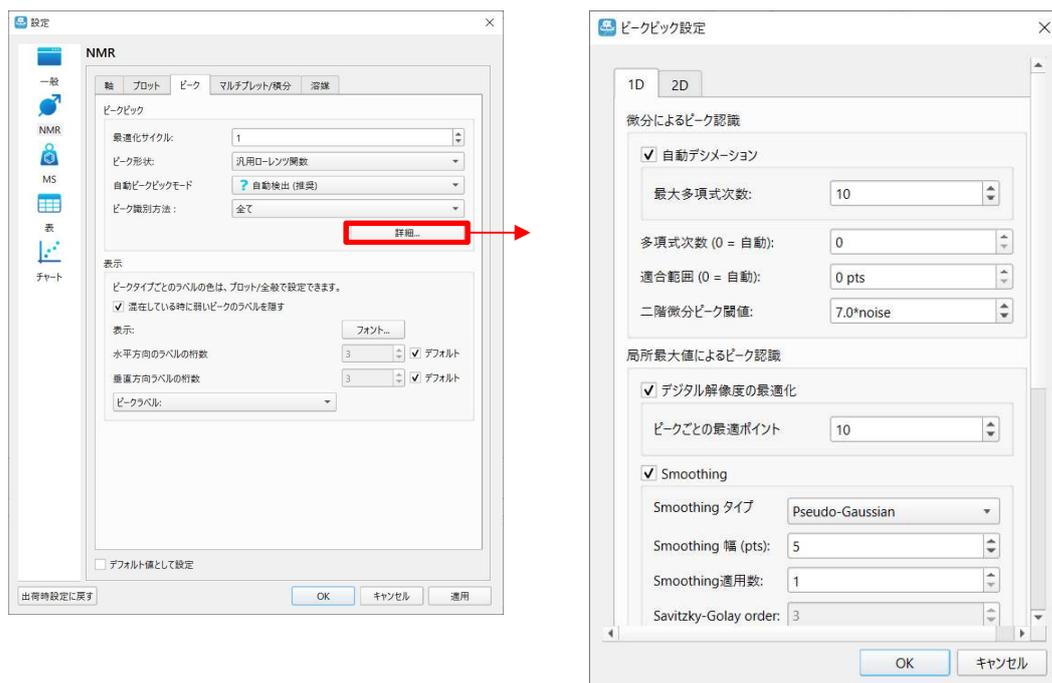


▶ 自動ピークピック

解析タブページの‘ピーク’の[自動]ボタンをクリックします。表示された閾値レベル(緑色の線)を設定すると、閾値レベルより上にあるピークが自動的に検出されます。



なお、自動ピークピックの設定を変更したい場合は以下の手順で変更が可能です。解析タブページの‘ピーク’の右端の歯車ボタンをクリックし、‘設定’画面を開きます。この画面ではピーク形状(疑似フォークト関数 or 汎用ローレンツ関数)などを選択できます。さらに‘設定’画面の[詳細]から‘ピークピック設定’画面を開くと、ピーク認識条件やノイズ識別条件などが設定できます。

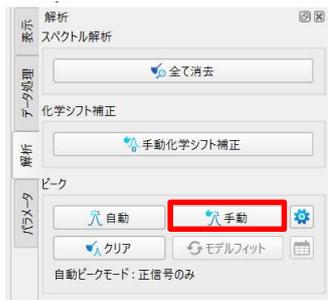




自動ピークピックで追加されないピークがある場合や自動で追加されたピークを削除したい場合などに、手動ピークピックを使用します。

▷ 手動ピークピック

まず、解析タブページの‘ピーク’の[手動]ボタン、またはツールバーの[手動ピークピッキング]ボタンをクリックします。

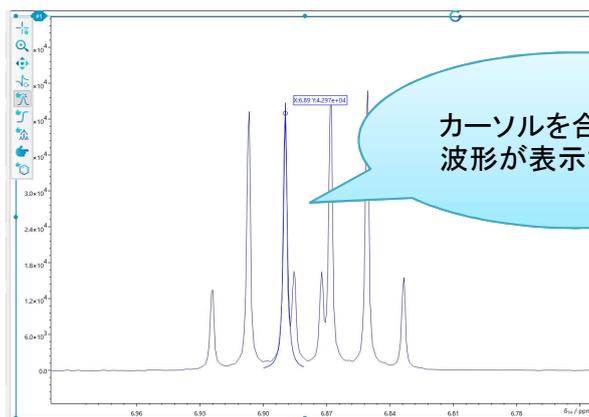


または

手動ピークピッキング



ピークを追加する場合は、追加したいピークにカーソルを合わせてクリックするとピークが追加されます。



カーソルを合わせると
波形が表示されます。

ピークを削除する場合は、まずツールバーの[選択]ボタンを押し、削除したいピークのラベルを選択します。ピークが選択された状態で右クリックし、[削除]を選びます。

選択

選択されたピークのラベルには色が付きます。

右クリック

メインメニュー	
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
特別なコピー	
貼り付け	Ctrl+V
削除	Del
設定...	
全て選択	Ctrl+A
外観	



▷ ピークテーブルの表示

ピークピックを行った後、スペクトル上で右クリックをし、[作成]⇒[ピークテーブル]を選択します。そうすると、スペクトルの下にピークテーブルが表示されます。ピークテーブルに表示するパラメータはテーブルツールから選択できます。(テーブルツールはコンテキストツールボタンから開くことができます。)

ピークテーブル

化学シフト(ppm)	強度	総幅(Hz)	尖度	面積	タイプ	溶媒	スケール	スコープ
7.260	4.23e+03	0.69	0.94	3.98e+03	NMR溶媒	refchloroform-d	1D	
6.932	1.41e+04	0.81	0.57	1.66e+04	化合物		1D	
6.921	341.58	2.64	-1.00	1.61e+03	不純物		1D	
6.914	4.38e+04	0.78	0.77	4.81e+04	化合物		1D	
6.905	797.96	3.47	-1.00	4.93e+03	不純物		1D	
6.897	4.39e+04	0.78	0.85	4.74e+04	化合物		1D	
6.893	1.55e+04	0.86	0.28	2.01e+04	化合物		1D	

コンテキストツール

ヘッダー	列	Body	Cell
A (pm)	ppm	3	n/a
B (n)	ppm	5	n/a
C	n/a	2	n/a
D	n/a	4	n/a
E	Hz	2	n/a
F	Hz	4	n/a
G	n/a	2	n/a
H	n/a	4	n/a

※これらはJASON(JEOL Analytical Software Network) ver.5.1によるものです。